

第30期夏期合宿

※以下の文章・写真は、2010年、第30期の夏期合宿の様子を記録した「塾長ブログ」からの抜粋です。

1期1日目(2010年7月31日)

午前7時40分、定刻に一人の遅刻人もなく始まりました。塾内一方通行を設定し、広い駐車場も整備し、交通指導員も出ています。



運命の「班分け」は女子班長によるじゃんけんです。班分けが終了し、まず「ふとん運び」から。



このあと、班に分かれて注意・紹介など。このあと、まず班別学習です。これは本館。



昼食はもちろん「たらいうどん」です。天ぷらは？



食事後は、洗い物。流しは「対面式」です。



午後からは授業の開始です。まず本館の中3が数学の小テストをしているところです。



中2は人数と暑さの関係で食堂を臨時的教室にしました。



「待望」の果物時間です。



桃は、こんなケースで5ケースをペロリでした。



果物時間のあとはまた授業。中1 英語です。



そして夕食。ちょっと味が「うすい」気がしましたが、おかわりに何人も立っていたので、よしとしましょう。



カレーの後片付けは大変です。でもティッシュでのふき取り(マヨネーズ理論も駆使して!)で食器の方は割りと簡単に片付きますが、問題は「大なべ」。もちろん男子の仕事です。シャワーが終わった後、1年生には「洗濯係」の大仕事が残っています。



そして単語テスト1回目。単語テストは班別競争なので、結構真剣です。



反省会后、中1・中2は就寝。中3の補習が今さっき終わったところです。

1期2日目(8月1日)

昨夜は(予想通り)「うろうろ中2」と「コロとミーティアのバトル」で何度も目を覚ましましたが起床時間(6時)には、めでたく素敵な音楽を放送できました。



この草が合宿の最後には1本もなくなる予定です。
帰ってきてから朝食。朝食は班ごとに食べます。朝食
後、しばらく自由時間。その後一斉清掃です。



中学生は非力ですし、掃除の要領もまだ身に付けていないので、大変です。掃除の後には、授業。南教室では中1の数学、中2の数学は食堂です。中3は数学の後、理科の質問タイム。その後昼食準備。ご飯も具もぴったりだなんて、おかわりができないじゃないか！



「他の人が役割をしているときは、学習時間です。」
という放送が何度か流れます。そして出来上がったのが三色丼。なかなかの味だったようですが、卵の「甘さ」にはあちこちで文句が出ていたとか。
片付けをしている間は班別学習です。



片付け後の「水シャワー」は結構需要があったようです。その後、授業時間。そして学年別学習。中3は理科テスト。そのころグラウンドではソフトの準備です。テントの設営もしなければ、一足先に行ってまずは草刈。そして、桃様、スイカ様の場所を設営しました。



今年も「美味し〜」の連発です。今年の中学生には野球部員も多いようです。どのくらいの技量なんだろう？と観察するのも楽しいものです。



帰ってからシャワーをしながら夕食ができるのを待ちます。「とんかつ」はまずまずだったのですが、「このキャベツの切り方はなに！」とか「このウリの(うりもみの)厚さは何なの？」ということも。



反省会では単語テストの点数発表。トップ班です。



1期3日目(8月2日)

ラジオ体操の後は草抜き。真剣にやっている子はもう汗が滴り落ちています。帰ってから朝食。



トレー方式で残り物もほとんど出ません。朝食後は片づけと一斉清掃です。これはシャワー室掃除。



掃除の後は朝の授業や学年別学習。中3の数学です。



食事前には麦茶班も陰ながら活躍しています。昼食は牛丼。「ウリの酢の物」「冷やっこ」付き。



今日の班別学習は真剣でした。授業の後、「このあとしばらく自由時間です。ただし、その後単語テストですけど。」と言に残して、グラウンドへ。(あらかじめグラウンドを整備し、ラインも引いておくのです。)そして2回目の単語テスト。



単語テストの後は「待ちに待った」ソフトボール大会2日目です。6班編成なのは、実は、基本的にソフトボールの1チームのメンバーを基準にしています。コートは2コートですから、試合は4チーム。残りの2チームは、先に果物時間。



ソフトボール時間の半分は草刈時間です。草刈休憩の一コマ。入道雲などちょっと絵になりそうですね？



ソフトボールの後はシャワー、夕食。夕食のために自慢のサニーレタスを収穫しました。



から揚げの色が気になりますが、美味しかったのか、余分のから揚げもすべてなくなりました。

今日の反省会は楽しい大学生との語らいでした。



反省会後は中3の補習。



中2・1も明日の「課題チェック」に備えて自主学习。

1期4日目(8月3日)

朝、ラジオ体操の後、中3は三谷神社にお参りします。



草抜きや草刈をしている土地は神社の所有。年間契約でグラウンド使用料を支払っています。支払って整備をしているのです。朝食準備班、時間に遅れる、プロッコリーの生、大量の「いり卵」の作製、ついでに単語テストも最悪！それでもみんな文句も言わず黙々と食べています。片付けの後の残飯等は「グリーンボット」に。まだ1期なので、そうは臭いません。一斉清掃の後は、(今日が最終日なので)、授業が続きます。写真は、中1英語。



昼食準備班、前回のリベンジを狙っているようです。(前回、ナスもちくわも揚がっていませんでした。)



今回は天ぶらの揚げ具合も良く、人気でした。失敗しても、もう一度やってみること、そしてできればうまく行けば言うことはありません！

久しぶりのうどん。やっぱり1日1回は食べないといけませんね。今は「課題」のチェック中！各学年1時間の時間を使って一人ひとりのノートを確認します。それから荷物整理、荷物出し(テラスなどのシートの上に自分の荷物を出すのです)をして2期のための一斉清掃。久々、南北教室テラス。



掃除の後には、またチェック、そして最後の果物。



この後、食堂に集合して表彰式、反省会です。

まず単語テスト連続満点の諸君です。



そして、班別競争、連続1位に輝いたのは4班。この班、連続満点はいなかったのですが、チームワークが良かったように思います。もう2～3日あれば、と思うのですが、果たして最終日が一番「まともに」なったでしょうか？そして、みんなの芸を披露してもらってお迎えを待ちます。



中には、こんな芸を披露する子たちも。元気な中3の女子。「ベルリンの壁」だそうです。



お迎え予定時間には外に出て、待っています。
今頃はきっとぐっすり寝ていることでしょう！

2期1日目(8月4日)

高校生合宿が始まりました。中学生が「生活合宿」(しっかりきちんと生活できれば、学習の基礎の半分以上は終了ですから)だったのに対し、高校生は「学習合宿」。高校生は、途中で「役割チェインジ」(例えば、食事作りと片付けが入れ替わる)があります。(合宿中の飲み物は基本的に麦茶・アルカリイオン水・飲むヨーグルト・コーヒー牛乳(もしくは白牛乳)・朝のニュースタミンです。)



午前中は班別学習。そして昼食準備。



今回、アスパラをいただきました。アスパラの天ぷらって美味しいんですね。そして、「たらいうどん」。



食後も麦茶班は結構大変です。残った麦茶はすべて捨てます。そしてペットボトルをしっかりと洗浄します。
(ペットボトルは各期毎に新しくなります。)



昼食片付け後は学年別学習。高3はテストがほとんどないので、個別学習（そしてその質問）が中心です。
高1は、ただ今英語のテスト中。



この後は「果物時間」待ちかねた桃とスイカ。



この後は学年別学習。高3の質問が少なそうです。
一方、夕食準備班。ジャガイモが小さいのは「植えなおした」ものだから。気候の影響を受けています。
そうして出来上がったものをカウンターに並べ、トレイに取っていくのです。



予想通り、1期<2期でした。（2期のほうが美味しかったということです。）

カレーの片付けは大変です。マヨネーズを使ってしっかり黄色を落としているはず。



夕食片付けの時間は、またシャワー時間でもあります。久しぶりの洗濯係の味は？と聞くと、「中1のときのことはすっかり忘れた」そうです。中学生と違って、しっかり単語の勉強をしています。そして1回目の単語テスト。本館の様子です。



この後反省会。今日のメインテーマは、「僕が医学部を志したのは・・・」という話です。



つまり、大学生スタッフの各学部の志望動機的一端を開示してもらい試みです。現在の大学生スタッフは、1期から継続が、N本(一橋大・商)、N岡兄(早稲田大・法)、N岡弟(慶応大・商)、T所(岡山大・医)、K西(香川大・医)、そして2期からが、H瀬(東京大・医)、A(一橋大・法)の各君です。この後は自由学習。高1・2も勉強家がそろっています。

2期2日目(8月5日)

朝、合宿所からグラウンドへ行く様子。高校生は中学生よりもずっと注意を守ります。(左側1列)



ラジオ体操。草を刈ると、グラウンドが広く見えます。



高校3年生はミニ「お百度参り」を行います。そして、神社の境内の草抜きをします。お祈りをするより効果があるかも？

外から帰ると、講師室入り口ではワンちゃんたちが出迎えてくれます。そして新参者のコロも、その真似をします。かなりの年齢差で、コロの悪戯に付き合いかねていますが、どうやら仲間にはなれたようです。



朝食です。一皿付けるだけで、何かしら豪華に見えてきます。(ウリの「取り皿」を付けただけです。)



一斉清掃の後は班別学習です。これは南教室の様子です。まだ2日目、睡眠学習に入っている子はほとんどいないようです・・・？



昼食は「三色丼とそうめん、うりもみ」です。
昼食後は学年別です。これは北教室の高2の数学。



しっかり学習したあとの果物(ソフトボール付き)。



夕食は「とんかつ定食」。サラダボウルのサニーレタスは勿論自家製。エダマメも。

夕食の後は片付け。明日には「役割チェインジ」。



夕食後は後半のシャワー、そして反省会です。まず昨日の単語テストの結果発表。今回トップの1班です。



昨日の反省会で宿題を出しておきました。班長が大学生に様々な質問をするというものです。たくさんの質問が出ましたが、・・・。

腰の状態が尋常ではありません。それでも・・・多分、明日の朝も「草刈機」を動かしているのだらうと想像されます。それにしても夕立がありません！

2期3日目(8月6日)

ラジオ体操。随分影が長くなりました。



体操の後、高3は神社前の草抜き。その前に「お参り」。



今日から班付き(各班に1名の大学生スタッフが付いています。)のスタッフも班と一緒に食事です。



食事の後は一斉清掃。そして班別学習。



昼食は「たらい焼きそば」。なかなかの味で作った班の班長さんも得意げです！すっかり売り切れました。この後、自由時間ですが・・・その後、2回目の単語テストです。自由時間ですから極端な話、寝ていてもいいんですが・・・。自由時間の後に単語テストをセットしたのは大ヒットだったようです。そして食堂での単語テスト。



単語テストの後は学年別のテスト時間。

テストの後は(きっと待ちに待っている)果物&ソフトボール時間です。雲行きが怪しく、一雨来そうだったのですが、結局降りませんでした。やっとグラウンド全景写真が撮れる場所の草刈を行いました。



グラウンドから帰ると、桃取り作業が待っていました。連日の猛暑で、桃たちの殆どは少し風が吹けば落ちる様子でした。これからは冷蔵保存の始まりです。



役割がチェンジしました。今回初めての食事作り。もう走っています！

そして出来上がった「酢豚定食」。サラダは勿論自家製サニーレタス。



今日は8月6日。広島で原爆による大量殺戮が行われた日です。数年前から（高校生合宿が高校のテストの関係で2・3期になってから）、この日に新聞読みをすることが恒例になりました。



朝日と毎日の社説、余録、一日一言、記者の目(毎日)を班長と一部大学生が音読します。さて、自主学習。今年の高3は拍子抜けです。今までになく居残り学習が少ないのです。その程度の体力で大丈夫？食堂の高1・高2の方が余程熱心に見えます・・・

2期4日目(8月7日)

朝はラジオ体操から。今日も快晴です。生徒諸君が草抜き(高3はお参りも)をしている間に草刈です。2台の威力で、どんどん草が刈れます。



合宿所に帰ってくると、役割チェインジで初めての朝食作り班が走っています。



そして朝食。4日目は「疲れ」も溜まるだろうということで、朝食後、自由時間にしています。意外にたくさんの子たちが学習していたようです。

昼食は「牛丼定食」です。人気でした。

昼食片付け、「水シャワー」。その後、長時間学年別テスト時間。テスト時間後はグラウンドへ移動し、ソフトボールなのですが、どうも空模様が怪しいのです。ほんの少し「焼け石に水」までも行かないくらい降りました。雲の動きをよく見て、「グラウンドに来なさい!」と連絡。高3が長時間数学テストをしているので、高1・高2で女子戦、男子戦。



それにしても、女子、ルールが身につけていません。そしてグラウンド果物。「涼しい」となかなか減りません。

夕食準備班は、他の班より早めに終了して、急いで帰ります。またまたサニーレタスの登場。

そして出来上がったのがこれです。ちょっと豪華な「からあげ定食」。



食事後は、油や汚れをしっかりとティッシュで拭き取ることにしています。



反省会では、まず単語テストの点数発表から。前回2位から1位になった3班。よく頑張りました。



このあと、新大学生スタッフによる大学案内でした。新スタッフは、A河さん(京都大・医・人間)、J内君(横浜国立大・経済)、S原君(大阪大・工)。ちょっと眠いですね～～

2期5日目(8月8日)

相変わらず雨が降りません。ラジオ体操の後のグラウンドの草抜きは無理と判断しました。そこで・・・全員で神社へ。神社の境内なら草が抜けるのです。まず全員で参拝。そして草抜きです。



やはり人海戦術。あっという間に綺麗になりました。帰ってから朝食。



今日はサンドイッチ。しかも自分の好きなものを自分で「ホテル食パン」にはさんで食べるのです。朝食後は掃除。そして学習です。この「淡々さ」が重要だと思っています。今期は意外なことに男子棟の「中学生化」があったようですが、きちんと日常生活を送りながら、その中で学習することが大切です。(テレビや携帯に費やす時間がなければ時間は随分あるものです。)



そして昼食準備。本日の新メニュー。タマネギとゴーヤ。どちらも天ぷらにしました。ゴーヤはちょっと苦いと思いましたが、なんと全部空いてしまいました！



ただ今、「再テスト」実施中。合宿中の数学テストの基準点に達しない者に対してです。



合格者たちは、高1も高2も余裕でした。

さて、殆どの子たちが再テストに合格しました。疲れた頭に糖分の供給時間です。



この後、荷物整理、荷物出し(雨が降りそうだったので、男子棟テラス前に。格好の実験！)、そして反省会。反省会では、まず表彰式。単語テスト1位の班は1回目は1班、2回目は3班。そして連続20点(テストは20点満点なので、連続満点だったということです)の表彰。表彰は、基本的に「表彰状」ではなくて、ケーキであったりシュークリームであったり・・・。



表彰式の後には「反省の弁」。そして反省会第2部へ。第2部の司会は、もちろんA君。これは1年女子グループです。歌は・・・忘れました。



そうこうするうちに「お迎えですよ～！」

3期1日目(8月9日)

今日も快晴でした。それにほぼ全員元気です！ほんの一人の遅刻人と、(総体で)まだ沖縄にいる数人を除き、3期もスタートしました。運命のじゃんけんにより班も決定。役割説明と掃除分担の確認を終え、そのまま班別学習。昼食作りのスタートです。その間、「人が役割をしている間は学習時間」の原則に従います。



昼食はもちろん「たらいうどん」です。食事後は、片付け班の出動です。



今は学年別のテスト時間。これは高1の英語テスト。



スイカは時期と関係があるのか、美味しいけれどなかなか空きません。



初日は、果物時間の後、再び学年別学習。本館の高3。いつもの年より高3が少ないので、ゆったりです。



ところが俄かに空が曇ってきました。そして雷と雨。雨が降ると、今年はなくても大丈夫だろうと思っていた「通路」の屋根にブルーシートを張らなければなりません。また、雨の中でも食材の調達はしなければ。



そして出来上がった初日恒例のカレー。予想通り「2期<3期」のような気がします。「俺たちの作ったカレーは美味しいのう〜」と言いながら食べているような。



片付け班には重大な使命があります。再び降り出した雨の中でも、それは遂行されなければなりません。そうです。グリーンポット行き！



全員のシャワーが終わり、ほぼ予定時間に1回目の単語テスト開始。これは食堂。



そして反省会。初日は恒例の血液型チェックと大学生スタッフの学部志望動機の話です。



質問を宿題にして、自由学習へ。

3期2日目(8月10日)

雨男・雨女に負けず、無事グラウンドに行けました。



遠くに「象頭山」が見えます。その中腹に「こんぴらさん」があるのです。ここから車で25分くらい。手前の草、なくなりました！ラジオ体操の後には、お参りをし草抜きです。「1期・2期の人たちが抜けなかった草が今日は抜けますよ～！」



この時期になって、やっと朝顔の花が増え始めました。なかなか「朝食準備できました～」の声が聞こえません。準備が遅れているのです。「朝食が遅れると予定が全部遅れるんですよ。何しよん！」と発破をかけます。朝食の後は掃除。掃除後は朝の班別学習。今のところ、2期よりは真面目に勉強しています。



今日は合宿前半の「ゴミの収集」。業者の方に来てもらいました。そうこうするうちに昼食準備です。合宿ではどうしても食事が中心に回転します。そして出来上がったのが三色丼。



これは商品になるくらい美味しかったですよ。素麺も！さらに、郷土料理の「ちしやもみ」がついています。食後は勿論片付け。

午後はまず学年別テストから。北教室の高2です。



テストの後はソフトボール&果物時間です。



5班は早めに帰って夕食作り。出来上がったのが「とんかつ定食」。サラダボール付。夕食の後、片付け、シャワーを浴びて反省会です。まず単語テストの点数発表。1位の2班さんです。



次に反省会。今回の質問は「彼女の作り方」から「生活費」までいろいろ楽しい質問もありました。



ただ今、反省会後の自主学習継続中です。



(多分)優しい大学生に質問中。集中して(もしかしたら周りの目もあって)学習し、疑問点はすぐに質問できる体制が出来上がっています。しかもその大学生は全員卒塾生なのです。今期の大学生スタッフを整理しておきましょう。H(東京大・医医)、N(一橋大・商)、A(一橋大・法)、N兄(早稲田大・法)、N弟(慶応大・商)、J(横浜国立大・経済)、A(京都大・医・人間)、S(大阪大・工)、T(岡山大・医医)、K(香川大・医医)。今夜さらにM原君(東京大・理)が加わります。こうした先輩諸君を見て、勉強しなかったらアホです。

3期3日目(8月11日)

途方もない草の量を前にして、でも少しずつ継続して抜いていくしか方法はないのです。気が付けば、ずいぶん綺麗になっています。勉強も同じようなところがあります。帰ってから朝食。小さな共同体での分業システムが働いています。



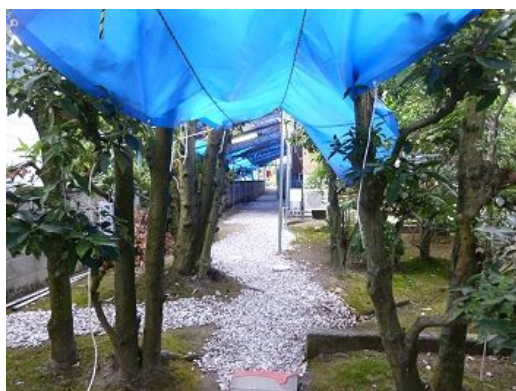
天気予報にもない雨が。雨が降ると、1年生は洗濯物を持って右往左往。昼食班が美味しいものを作ってくれました。もはや名物になった「たらい焼きそば」。



昼食片付け班が片付けている間の班別学習。これも一種の分業です。自由時間の後の単語テスト。昼間の眠いときに単語テストをするというのはアイデアだな、と気に入っているんです。



しばらく自由時間にして、その後各学年のテスト。今期は雨が多そうなので、結局「通路」の屋根にブルーシートを張ることになりました。



木の間をぬって、しかも小石を敷き詰めています。

降っていた雨は予想通り30分ほどで止みました。20分遅れで2回目のソフトボール大会です。これはAコート。レフト側向こうに見えるのが本部席。



最後の果物班には残った桃やスイカを「たいらげて」帰る使命があります。「エコ」実践です。



帰ると、夕食班は走っています。時間厳守だからです。



「夕食ができました～」とまさに走って講師棟まで来ると、「夕食ができました。よく手を洗って並んで下さい。」という放送が流れます。

そして、できたのが「酢豚定食」。これは「2期>3期」かな。食事が終わると、昨日まで食事作り班だった諸君が今日から片付け。「作り」と「片付け」と両方を味わうことに意味があるのです。大鍋洗いは大変でしょ？



反省会では、まずM原君(東京大・理)の「なぜマヨネーズを使うと汚れが落ちるのか?」の講義から。説明が終わると拍手が沸きました。今夜は「流れ星を見る会」実施の予定でしたが、予想通り流れて、昨日の続きの「女子班長」さんの質問で盛り上がりました。やはり女子は「自炊の仕方」とか「生活費」とか……そうそう、昨日、グラウンドに坂高卒塾生諸君が登場しました。広島大大学院のT君、奈良教育大大学院のY君、2回も留学してまだ岡山大のYさん、そして新潟大を卒業して講師生活のOさん、北九州市立大を卒業して、かの有名な「卑弥呼」に勤務のAさんです。ソフトボールをやらせながら、草刈で疲労困憊で余り相手が出来ませんでした。

3期4日目(8月12日)

台風の影響で中止のはずだった朝の体操と草抜き、天は幼稚な高1に草抜きをさせたいようです。(座り込んで抜きません。しかもラジオ体操に遅刻! 今年の合宿で初めてです。班別得点から減点する予定です!)



ラジオ体操、草抜き、お参りと日課が続きます。この生活をせめてもう少し長く続ければ、といつも思いま

す。帰って朝食。窓の向こうに、「こちら側」に向けて咲いたアサガオ。なかなか風流です。



食事の後は片付け。昨日までの食事作り班。役割チェインジでどう思っているでしょう?



片付けの進行状況に合わせて、一斉清掃。この後、合宿で初めての自由時間です。睡眠学習をしていた者少々。ダラダラ寝をしていた者少々……食事作り班の始動と共に班別学習です。食事作り班は、昨日までの片付け班です。そして昼食。当地の牛井定食には、そうめんと冷やっこが付いてきます。



食事後の学年別テスト。

今年は無事、3日連続のソフトボールができました。(去年は雨にたたられましたから。)

高3のテスト時間が長いので、高1・高2で男女戦です。Bコートの子。レーゼフラウエン「再興」の候補者は・・・？



今日の桃は甘かった（そうです）。何とか4期分も確保できたようです。

「本格ソフト」のミニ練習をして帰ると、夕食準備班が頑張っていました。最近は、殆どの食事が予定時間前にできています。楽しい夕食。「からあげ定食」。



片付け班も隅々まで掃除しています。厨房内排水溝もしっかり掃除です。自分が懸命に役割を実行することが他の人の為になる、この感覚は得がたいものです。



シャワーのあと高2の理科の進度チェックをするため学年別学習。そして反省会。まずは単語テストの発表。朝のラジオ体操に遅れた4名(1～3期で初めて)は、一人当たり2点の減点ということに。単語の班別競争は微差ですから、それによって順位も入れ替わりました。今回のトップは夕食準備をしていた6班。平均点18.7点。まあまあかな。(満点20点)



「淡々と日常生活をしっかりと送ること、それは学習合宿の基礎になります。寝ることも役割の一つです。」

「今夜は最後の夜。せいぜいおしゃべりに花を咲かせなさい！」果たして皮肉が通じるのでしょうか？反省会後の自由学習。あくまで自由というところが重要です。こういう姿勢を続ければ、どれほどの成果が出るだろうかと思います。ところが、「ふつうの」日常生活の場では、その意欲を阻害するものの山です。



3期5日目(8月13日)

今朝は「うすぐもり」。高3も最後のお参り。お参り後の草抜きを真剣にした人にはきつと素敵なことが待っていることでしょう。帰ると、花の数の多くなった朝顔が出迎えてくれます。



朝食は「自分ではさむ」サンドイッチです。朝食の後、最終日は学年別学習。そうこうするうちに昼食作り。一方、「他の人が役割をしているときは学習時間です」



そして、恒例の「たらいうどん」。「同じ釜の飯」も食いますが、讃岐では「同じたらいのうどんを食う」のです！あと数日あれば、時間を惜しんで学習する「習慣」ができます。しかし、明日からは4期、時間的余裕がありません。恒例になった「再テスト」の一方で、高2の合格者は、何と・・・



再テストの後は、糖分の補給です。でも、今期は「桃・スイカ」の売れ行きはよくありませんでした。美味しいのですが……。この後は荷物を整理して荷物出し。今年から巨大なテラスができたので、雨を恐れる心配がありません。そして、4期のために大掃除。それか

ら反省会です。最後の大掃除、掃除をしなくてもいいところの子を別の所に配置換えしたのですが、それを嫌がらず、また手が空くと手伝う・・・そういう心遣いができるようになった(?)ことが一番嬉しいことです。勉強ができることよりも、他の人を思いやることができること、それが最も大切なことであり、根底的な学習意欲を支えるものなのです。そして表彰式。まず単語テスト班別競争、第1位の班から。



次に連続20点表彰。この後、反省会は第2部へ。別名「宴会」。司会は勿論Aや君。最近別の愛称がついたような・・・いや～歌もうまいですね。



いろんな子たちの歌や演技にみんな大爆笑です。そして、最初は高1から、次々に迎えの車の到着です。



もう少し居てくれてもいいなと思った3期合宿が終了しました。しかし、高1は明日から、高2・高3は明後日から平常授業の開始です。頑張ろう！

4期1日目(8月14日)

4期合宿は、再び中学生。遅刻者が数人いました。今期は7班編成。女子班長のじゃんけんで班・掃除区域等が決定。食事準備班・片付け班・麦茶班に分かれて、自己紹介・細かな説明や分担が行われました。



早くも昼食準備が始まりました。メニューはもちろん「たらいうどん」！班員が仲良くなる「特効薬」です。



「他の人が役割をしている・・・」の連呼です。



そして、「昼食ができました。よ〜く手を洗って・・・」



食事の後は片付け。中学生の時代から、やはり男子は暑い中を鍋洗いです。

「合宿注意集」は「失敗集」でもあります。年々、注意集は充実していくのですが、失敗の中からしっかり学び取る姿勢が重要です。そういう意味では、「事故」に至らない失敗は必要なことです。

午後は数学の授業から。これは食堂の中2。



授業の後はみんな期待の果物時間です。どれもこれも美味しい〜



果物時間の後は英語の授業。そして、班別学習をしながら、(班によってはシャワーをしながら)、夕食を待ちます。



夕食準備班(3班)は「てんてこまい」。でも出来上がったカレー、今年の合宿で一番美味しかったとか。



食事の後、勿論片付けです。(6班)



片付け後、全員のシャワーが終わってから、単語テストの開始です。



そして「寝る用意をして」(寝ることも役割です!)、反省会。反省会では、某調査と、大学生の詳しい紹介。



今期の大学生スタッフです。

N本君(一橋大)、A木さん(東京大)、J内君(横浜国立大)、A河さん(京都大)、S原君(大阪大)、S藤さん(大阪大)、M田君(岡山大)、K西君(香川大)です。反省会の後は例によって中3の補習。



4期2日目(8月15日)

空を見上げると快晴です。人海戦術で草抜き。またまた抜ける部分が少なくなってきました。



今年の夏、神社で念仏踊りがあるので地域の人たちが総出で大掃除をしていました。「綺麗にしてくれるので助かるわ!」との感謝の言葉をいただきました。

朝食作りで「失敗」!ごはんを炊いている一つの釜のガスが点火できていなかったそうで、約20分遅刻!



朝食の後は片付け。そして、一斉清掃。中1の数学の授業です。この後、中3に理科の時間があつたので、しばらく学年別学習。



そして、昼食作り・班別学習。



「親子丼」(冷奴, うりもみ付)の出来上がりです。昨夜、男子棟では「宴会」があつたそうで、眠そうな子もいます。「寝ることも役割」ということが伝わっていません。あるいは、「宿泊」とはそういうものだという偏見があるのかも知れません。困ったものです。片付け班が片付けている間は「班別学習」の時間です。そして、昼の英語の授業に突入です。本館の中3。



面白い写真を1枚。「渡り廊下」です。



この後、中3は理科テスト。中1・2は学年別学習。そしてグラウンドへ。まず果物から。



試合をする班と先に「果物時間」の班とに分かれています。これはセンターからAコートを書いています。



「果物係」の最も重要な使命は、合宿所に帰ってから
にあります。スイカや桃の「残飯」をグリーンボット
に投入するのです。それにしても、かなり臭うらしい。
シャワーを済ませた班では、1年生による洗濯。そう
こうしているうちに、「とんかつ定食」の完成です。



時間は遅くなりましたが、中3の天体観測。



そして反省会。昨日の単語テストの点数発表、昨日の
宿題(大学生スタッフへの質問)を半分消化しました。
単語テスト1位は1班です。

4期3日目(8月16日)

今日も快晴。良いというより暑すぎる天気です。
帰ってきて朝食。



何と「うめぼし」(毎食に食べています)がなくなって
しまったとか。急遽ばあさんから自家製のをもらって
きたのですが、辛くて辛くて！食事の後は、朝食片付
け。一斉清掃の後、授業。中3は社会のテスト。



このあと昼食準備班が食事を作っている間、自由時間。
女子はほとんど自由学習していましたが、男子は睡眠
学習の山！やはり遺伝子が・・・食事作りになって、
少しは包丁が使えるようになったのでしょうか？昼食
は三色丼。食事作りは暑いので大変です。食事のとき、
麦茶が余った班から食事作り班に麦茶が届けられま
す。(ペットボトルに入っている。)



食事片付けは、「ため洗い」をしています。



午後は班別学習から。(昼食片付け班が役割中です。)
そして「水シャワー」時間があって学年別英語の時間。
そして、自由時間を経て単語テスト。



そのころ「先発隊」は暑さと戦っています。グラウンドをならし、ラインを引き、水をうつという作業です。整備が終わるころ、第1陣が到着して試合開始。今期の子たちは、桃やスイカがあつという間になくなります。その度に、合宿所から「追加」。一度に試合できるのは4つの班、残りの3つの班はまず果物時間。



早めに試合を終えた3班(夕食作り班)は、さっさと帰って夕食作り。ほんの少し遅れて出来上がりました。



みんな美味しそうに、(本当に美味しいのです。)ごはんが・・・?)



遅くなった反省会。昨日の続きの「大学生への質問」。



反省会後は、中3の英語補習！

4期4日目(8月17日)

男子棟、昨夜は最後の夜にもかかわらず、比較的早く静かになったようです。やっと「最後の夜だからしっかりしゃべりなさい！」の皮肉が通じたのか、それとも単に疲れているだけでも分かりません。今日も快晴、朝、整然と一列になってグラウンドへ向かいます。グラウンドは、本当に綺麗になりました。(今年最後の)ラジオ体操の後、3年生は「お参り」に。



再びグラウンドに下りてきて、全員で「石拾い」です。まだまだ小さな石が転がっているのです。帰ると、朝食準備班が美味しい(?)朝食を作ってくれています。

4期は、中学生の力で100食近くの食事を作っています。よく頑張っていると思います。

一斉清掃の後、授業。まず中2の数学。後ろにアサガオの「よしず」が見えて、なかなか素敵な教室です。



中3の数学は、しっかり勉強したか、今からチェックです。最終日なので、授業が連続します。2時間目、中1の英語です。



昼食準備班が暑い中昼食を作っている(主には「てんぷら」を揚げるのですが)、その間はもちろん班別学習。そして昼食。最終日はやっぱり「たらいうどん」!



午後は学年別進捗チェックから。その後一斉清掃をして、(1年間の眠りのために)、食堂に集合。そして「ふとん運び」。(ふとんをいったん男子棟に集めます。)男子が相対的にうるさかったので、ペナルティです。



その後、最後の果物時間です。結局、スイカは少々余ったようです。



今期の子たちは、よく食べます。

その後反省会。単語テストの結果発表と表彰です。2回連続トップだった1班。



実は、2回目の単語テスト、3班も1位だったのですが、問題行動により減点しました。次に連続20点表彰。そして反省会は第2部に移行します。
今回の司会はJ内君。



あれこれ楽しんでいるうちに、お迎えの車がやってきます。今期の子達、後数日居て欲しかったかと聞かれば・・・(そうですね、もう1日くらい・・・)
合宿で学んだことを、なんてことは言いません。
しっかりと、少しだけでいいから他の人のことを考えて行動しましょう。それは・・・勉強ができることよりもっともっと素敵なことです。もちろん、そうなれば、勉強の結果は自ずから付いてくることでしょう！
今年の合宿、ご家庭の理解と、地域の殆どの方々の暖かい視線を感じました。ありがとうございました！
もちろん・・・明日は「代理」を立てられない授業も開始します。頑張ります！



☆次の『歴史回顧』は、2005年にまとめたものです。
それを2006年、2007年と加筆しました。歴史を知らない、愚行を繰り返すことにもなりかねませんから。

夏期合宿の歴史回顧

2006年の夏期合宿は第26期。今までの4分の1世紀(!)の間には、いろいろなことがありました。合宿の思い出については、1999年に『合宿の歩み』という小冊子を発行しています。今年の高3の子は持っているはずですが(ただし中学生のときに塾に来ていれば)。しかし、それからでも随分長い時間が経過しました。そこでまず、合宿の全般的な歴史や設備の状況が分かる記事を掲載します。これら(第1話～7話)は、2005年にホームページに掲載したものを加筆訂正したものです。

☆第1話☆

合宿は、今年で27回を数えます(「試行」を含めると28回)。最初は、プレハブを(夏の間だけ)リースして大変でした。そして、これは(主に中2で行われる)「宿泊学習」よりもずっと前になります。食事、洗濯など日常生活すべてを分担して行うということは「宿泊学習」がまだ手をつけていないことですね。

合宿をすることによって、私たちと生徒たち、生徒たち同士の「垣根」は圧倒的に低くなります。もちろん、当初は1週間



を基本としていましたから、「もめごと」もあれこれ起こります。そうした「もめごと」を曲がりなりにも解決することから、また次の課題も浮かび上がってきました。(最近の合宿は短すぎるのです。)

もちろん、「学習面」でも、当初は平常の1カ月分以上(今でも2～3週間分)のことが消化できます。合宿を契機にして単語嫌いを克服した人もたくさんいます。(役割はありますが、テレビやゲームはありませんから。)

設備も年々少しずつ整備してきました。昔の生徒が見たら、きっと「言葉も無い」状態になっています。

厨房は建物の中に(ということは昔は「外」だった!)入っていますし、寝床はゆったりしていますし、最近「クーラー室」から「保健室」までできていますから。トイレも水洗トイレ(半分为洋式。)ですし。(掃除をさぼって、蛆を発生させたのは遠い昔のことです。)教室は教室で整備されましたし。(ということは、「食事だ」で机や椅子を片付けなくていいし、「通路教室」もないということです。(笑))

暑い中で、汗を流しながら料理を作り、洗濯をし、それこそ「ジュース」や「お菓子」もない中で、テキストにポタポタ汗を落としながら「周りの目もあって」(?)勉強するのです。そうした時間の合間に食べる桃やスイカの美味しさ、グラウンドでのソフトボール、自然の風の快適さ。そうした日常こそ大切なのではありませんか。一過性のイベントではなく。

☆第2話☆

今日はシャワー室の歴史。今のシャワー室は3代目。(一番最初の「掘っ立て小屋」での露天シャワー室を除いて)「露天シャワー室」を思い出したついでに少し書いておきましょう。

当時住んでいた家(その横にプレハブを建てて合宿を行いました。)には、シャワーは(当然)1台しかありませんから、人数をこなすことが出来ません。家のシャワーはやはり女子優先で(女子は甘やかされていますね・・・)、男子を一挙にシャワーをさせようということで、「掘っ立て小屋」の屋根に子供用のプールを載せて、太陽熱で温水にし、そこからサイホン^{サイホン}の原理で(これ、今の中学では学ばないんですね)、「湯」を落とすという計画を思いつきました。(そうすると一挙に5～6人できるぞ!と。)

ところが、あいにくその日は曇り空で、屋根のプールの水は水のままだったのです。はしごをかけて、鍋で沸かした湯を入れましたが、ほとんど効果はありません。

ところが、その狭い空間に詰め込まれた男子たち、
キヤーキヤー言いながらも結構楽しんでいる様子。そ

れから随分仲良くなったことは言うまでもありません。(何も隠すものがなくなったからかも?)(これが「水シャワー」です。)

さて、それから3年目(1983年)、もと校舎の「払い下げ」があつて、巨大なプレハブが手に入りました。(4間×10間)今は亡き「旧食堂・旧女子部屋」です。そのプレハブを、実家の田んぼをつぶして建てました。その横にシャワー室を作ったのです。もちろん手作りです。

原理は「水シャワー」と同じです。違うのは、屋根



にはタンク、湯はボイラーの湯。しかしこのボイラーが「曲者」で、もちろん中古品ですから、湯量が

少ないのです。屋根の高さも低かったので、水圧は推して知るべし。しかもタンクが小さかったので、よく「湯切れ」になりました。それでも、一度に3～5名ができたのです。身体中に(時には頭に)泡がついてるとき湯切れになって泣いた人もいることでしょう!

そして、抜本的な改革を図るべく、それから4年後(1987年)、新シャワー室を設計しました。タンクを大きく、高さを高く、そして一挙に10名がシャワーできるというものでした。しかし、せっかく、タンク台を作ったのにタンクが上がりません。ロープで引っ張ったり、棒でつついたり・・・ロープで支えていた子
(これが何と高3)の腕は棒になっていたそうです(今小3の子がいるとか)。

しかし「はしごを使う」ということを考え付き、あっけなくタンクは設置できました。このシャワー室はみんなに感動を生みました。3分間からその倍にシャワー時間も延びましたし。ただ、一つだけ難点がありました。純粹の個室ではなかったのです。間仕切りはありましたが(ということは、それまで、間仕切りは・・・), 使った湯が足元を流れていくのです・・・。

(途中でボイラーは新しいものになっています。)

そして 1993 年、本格的な合宿所設備の整備に入りました。この年に合宿所本館・トイレ棟とともに、新シャワー室ができました。もちろん、完全個室(一つの個室に排水溝がある!)です。しかしタンク台(鉄骨で出来ている)を人力で運ぶのは大変でした。今思えば、よく怪我をしなかったとしか言いようがありません。

ところが、シャワー室の格好は出来たのですが、中の間仕切りが間に合いません。私一人ではどうにもな



らない時に、強力な援軍が現れました。K君です(当時京大生)。彼の手助けもあって、何と

か合宿初日に間に合ったのです。

そして、K君に釘を渡していた(間仕切りをするということは、コンパネ等の釘打ちが必要になります。)のが、Mさん。今、2人は2児の親!そうです。ここから始まったとか。

☆第3話☆



「旧食堂・旧女子部屋」の話しです。その手に入れた「元校舎」は天井も高く、しっかりしたものでした。

(さすがに・・・ですね。)その建物を、これまた廃品の柱にカンナをかけ(もちろん私がです)、再利用して3つの部屋に仕切りました。廃品の柱は勿論、寄贈品です。協力者はいるものです。

当時としては、清水の舞台から飛び降りる気持ちで(さて、高3、英訳してみよう!),「大工道具」を購入し、朝から作業にかかっていた。10間の長さのうち、女子部屋に3間、男子部屋に2間(と言っても、

女子部屋との間には押し入れやロッカーを作りましたから、実質は 1.5 間。残りが食堂部分です。(そういえば、各部屋に畳(これも貰い物)を敷き詰めていたとき、思い切り蹴って押し込めた瞬間に「ぎっくり腰」になりました!今の持病の始まりです。)

※「間(けん)」のレクチャーです。色々な日本の建物は基本的にこの考えでできています。1間×1間が1坪で畳2畳に相当します。従って、女子部屋は4×3で12坪、24畳部屋ということになります。理屈では。つまり、プレハブでは1間が短いのです。(大体 182cm 普通は 190~195cm くらいでしょうか。この近辺では。関東ではプレハブ並みだそうですね。)

食堂は、時には教室であったりもしました。それでは複数学年いますから教室が足りません。そこで、テラスや通路を教室にしたのです。

男子部屋は、もちろん足りませんから、「作りつけ」の2段ベッドを作りました。風が通いませんから、その暑かったこと暑かったこと。女子部屋もその部屋に30名以上詰め込みましたから、決して快適ではなかったことでしょう。ふとんは3人で2枚だったように思います。



もともとイタズラ好きですから、寝静まった頃、食堂で、焼き鳥を焼いたりして・・・そうすると、その「香り」が特に男子部屋に漂います。2段ベッドの上から食堂が覗けましたから、次々に起き上がってきたり・・・

さて、その旧本館も狭くなり、合宿中は新たなプレ



ハブをリースして、まず男子部屋がなくなりました。ということは、男子は、そのリースしたプレハブで寝るのです。その暑いことと言ったら、旧男子部屋

の比ではありませんでした。窓用換気扇を買って取り付けたときの快適さを覚えている子もきつということでしょう。

それで、新本館(現在の合宿所本館)建設とともに、(新食堂を同時に建設する余裕がなかったため)旧本館は、食事だけのスペースになりました。女子部屋は教室に。それで旧本館を「旧食堂・旧女子部屋」と呼ん



でいたのです。そうすると新女子部屋は？本館の2階です。(今の第一女子部屋)風通しはよ

く、快適な部屋でしょう？

やがて「新食堂」(これについてはまた後日)建設とともに、旧食堂・旧女子部屋は、「教室」としての役割だけになります。(本来の役割ですね。)

しかし、専門家の診断を受けた旧食堂は、柱(鉄)はボロボロ状態でした。そして、2001年12月に解体ということになったのです。今、その跡地に北教室(2002年)が建ち、南教室(2003年)が建ち、広いテラスもできています。

☆第4話☆

新食堂(現在の食堂)は、実は3号館の建っているところにありました。1991年、現在の3号館の用地を取得し、そこにプレハブでしたが、4間×6間総二階の「小学部」を作りました。(間仕切りをして3教室



+講師室。トイレは高級プレハブでした。接続部分は例によって手作り。)

1994年に、3号館建設の構想がまとまり(11月に完成)、その小学部を合宿所に移設しました。隣に広い厨房をとり、カウンター(3間分の長さ)も設置しました。そして2階を

男子部屋にしたのです。それでも人数の割には狭く、大量の2段ベッドも購入しました。

その後、1996年に食堂を3間延長し(同時に男子棟(4間×6間総二階)も建築。やっと男子専用の建物ことができました。(笑))、現在の大きさの食堂になったのです。(4間×9間ですから、72畳ということになります。)そして、二階は、「第二女子部屋」になりました。



これで、1期当たり100名を越しても、比較的ゆったりとした合宿生活が送れることになった訳です。

この間、1995年には講師棟(4間×5間総二階)も作りました。あちこち移動していたスタッフの寝床が



確保できたのです。(それにしても合宿中の男子スタッフの部屋(二階)は、余りにも整理が行き届いていて、ちょっと公

開できません。(笑))

これらの建物の配置は、騒音や光ができるだけ外部に漏れないように、風通しがよいように配慮しました。

また、各建物は、テラスや廊下でつながっています。

☆第5話☆

去年の合宿には東大生4名を始め、たくさんの大学生スタッフ(すべて卒塾生)が参加しました。今年もちろん彼らのヘルプを期待しています。



今でこそ、卒塾生の数も多く、「遊びたい心」(失礼！いろいろな活動)を犠牲にして、たくさんの大

学生スタッフが合宿の協力してくれます。でも、も

ちろん最初からそうではありませんでした。

最初の2年間(多分)は、大学の後輩のK君がわざわざ東京から来て手伝ってくれました。彼は、高校時代全国模試でトップをとったこともある人です。(今は、3人の子持ち!)その上、いろいろ気が付いて、しかも優しく、ホントに東大生には珍しいような素敵な人でした。彼のような大学生を輩出しようという一つのモデルに今でもなっています。



彼は、別府出身です。そうです。庭を掘ると温泉が湧き出るという。ある時、風呂から出てきたK君に「湯加減」を尋ねると、「まあまあ」とのこと。「それはそれは」ということで、その後風呂に入ると・・・何と、手も浸かりません。もちろん、熱くて(笑)。やっぱり、温泉の本場の人は違うな、と「結婚式のスピーチ」で述べたのを思い出します。

「旧食堂」が出来た時には、塾外からM君(現役東大生)に来てもらいました。合宿中M君の「彼女」が急逝しました。喪服を貸してあげたり・・・命の儚さを感じたり・・・。

それから、(たぶん)2年間くらいは私の学生時代の親友のI君が来てくれました。彼は、大学卒業後、また受験し、今は精神科医として(恐らく)活躍しています(笑)。

そうこうするうちに、初代の高校部の卒塾生(塾発足当初小6…この学年が塾を引っ張ってきたのです。成績面でも。)が大学生になり、以後延々と続く、卒塾生による合宿スタッフ制度が出来上がりました。

中でも記憶に残るのは、初代の早稲田大のA君、その2歳下の慶応大のN君です。特にN君は大学生時代、そして「(休暇)をとってまで」社会人になっても、(たぶん)6年間は来てくれたと思います。感謝しています。そのパワーとスピードは尋常ではありませんでした。もう「時効」だろうと思いますが・・・炎天下のグラウンド整備を一緒にして、冷蔵庫の裏に隠れて2

人で飲んだビールの味は格別でした！(当時は、講師室などありませんでしたから。)

スタッフを思い出すと、本当に、よく働く人たちでした。そうした幸運を感謝せずにはいられません。彼らなしでは、4分の1世紀に及ぶ「レーゼクライスの合宿」は不可能だったでしょう。

しかし、ふと思ったのですが、長い期間続けて合宿に来たのは、ほとんど男子です。女子は殆ど続きませんし、数も少ないですね。(Mさん・Mさん・Hさん・Tさんを除き)やっぱり、女子は、行った所で根付くのかも？やっぱり男女は違いますね、という暴言を吐いて、また次回！

☆第6話☆

近年、合宿初日の昼食は「たらいうどん」に決まっています。これは今では各班の親睦と「最初の料理」として最も無難(天ぶらを揚げるくらいのものですから)ということですが、実は始めたのは1990年です。そう、忘れもしない、あの平安戦のあった42年ぶりの丸亀高校野球部の甲子園出場の年です。



甲子園に出場するということは、生徒は応援に行かなければなりません。そうすると、合宿とぶつかるし、何より私たちだって応援に行きたい！何せ42年ぶりですから、「この次」は無いものと思いましたから。(その後2000年には春夏出場しています。)

そこで、3つの方法を取りました。合宿は当時も4期制でした。まず第1に、何と3期の日程を1日早めたのです。そうすることで、3期と4期の間を1日空けました。(その日に試合があったのです。勿論応援に行きました。)連絡を回して。それが可能であったということ自体恐ろしいことです。そうすると、2期の最終日と3期の初日の昼食が「ぶつかる」ことになります。当然食器などが足りません。

そこで、考え出したのです。「たらいうどん」を！
「たらいうどん」
なら割り箸と「つ
ゆいれ」があれば
何とかできます。
ということで、始
まったのです。



高3英語の文章に、「書き出すと、その書くことに
応じていろいろな考えが浮かび、話しが思わぬ方向に
発展する」という(趣旨の(笑))ものがありました。今、
まさにそうなろうとしています・・・

さて、第2の方法です。きっと1回戦で負けると思
っていたのが、勝ってしまいました。そうすると、ま
さに4期の合宿中に試合が入ることになります。4期
は高1半分・高2半分・中3の選抜という編成でした。
合宿所から高校の集場所まで高校生を送迎するこ
とは決まったものの、中3をどうするかということに
なり・・・結局、ワゴン車3台に分乗して甲子園へ向
かいました。それが「雨中の」「平安戦」だったので
す。(運転手は私と昨日のN君と高校部がなくて悔し
い思いをした世代のH君)

高校生には「おむすびに塩こんぶ、つけものにソー
セージ」という全員そろいの、しかも新聞紙でくるん
だ弁当を持たせました。(聞くところによれば、少し
人に笑われたけど、合宿中の全員が食べていることを
思い、心強かったそうです。(笑))当時は校長先生始め、
知り合いの先生方がたくさんいたので、チケットもい
ただき、中学生も高校生と一緒に頑張って応援です。

試合は、延長戦(0-0のまま)となり、雨まで降り
出しました。しかもナイターです。そして・・・何と
勝ってしまったのです(ベスト8)。問題は、それから
でした。高速道路を飛ばして(暖房にしながらですよ)、
先に合宿所に帰り着き、それから高校生を迎えに。た
くさんの子は濡れて寒そうです。合宿所では、熱めの
シャワーと食事を用意していました。全部真夜中の出
来事です。

さて第3です。翌朝の起床は10時。しかも合宿最

終日に試合ということになってしまいました。そこで、
合宿を1日早めに切り上げたのです。その代わり、「塾
学習」を1日とるということにしました。

準決勝の相手は天理(優勝校です)。試合前の練習を
見た瞬間に、これは・・・と思いました。全く違うの
です。体格から何から。(ちょっと安心もしました
が・・・)

「たらいうどん」から随分発展してしまいました。
ただ付け加えておくと、このときの高2から中3にか
けて、高1の学力テスト9連勝が達成されたのです。
(未だに破られていない記録です。2年余り、学年ト
ップを独占したのです。(3年間12回中11回トップ
ということも素晴らしい。後の1回は2位!))



だから、「机の前で勉
強する」だけが「勉
強」ではないのです。
雨の中、必死で応援
する行為も「勉強へ
の集中力」という点

では貴重なことなのです。

☆第7話☆

1991年の合宿では、都合で、高3理系を2期に固
めました。ところが、学校の補習(課外)とぶつかる日
ができたのです。それは「もめごと」が表面化するま
で私は知りませんでした。

今もそうですが、当時もいわゆる(「否定語」です
よ)「ダッシュクラス」にはたくさんの塾生が属して
いました。そのクラスでのことです。ある、事情をあ
まりよく知らない子が、漏らしてしまいました(課外
と合宿がぶつかるということ)。そして、担任は当



然のように「課
外に来い」と言
ったのです。

ほとんどの塾
生は、何も言わ

ずに、合宿に来るつもりだったようです。しかし表面

化してしまいました。しかもかなり強い口調で言われたようです。

たまたまその担任と私は高校時代の同級生でした(名前を知っている程度の)。そこで、電話をし、いろいろ話しをし、結局、その担任は「生徒の自由にさせよう」と提案しました。私たちは、そうすると合宿に来ると思っていたから、そういうことは言えません。彼は、当然「学校」を選ぶと信じていたのでしょうか。そして、合宿初日、誰一人遅れることなく合宿に来ていました。

高3が勉強している(自主学习)部屋に入るのが憚られるほどの緊張感があったと高2のある子が感想を残しています。「連棟式プレハブ」の、2階を歩けば、埃が落ちてくるような部屋(つまり天井を張っていない!)でしたが。

以上で「思い出話」はおしまいです。これで合宿所の歴史や設備などの概略が分かったことでしょう。

次は、中1の子達の反省文です。中1は、「初めてのレーゼクライスの合宿」ということで、何かと不安も大きいでしょう。また、逆に、小学校以来の様々な「宿泊学習」で、おかしい思い込みがあっても困ります。それでこのようなコーナーを作ることにしたのです。ただし、これらは、既に大学生(社会人)になった諸君が、中1の時に書いたものです。イニシャルの後の大学名は、中学部を卒業し、丸亀高校や坂出高校へ進学し、そして、その大学へ進学した諸君(つまり、最低6年間通塾!)のものです。今年(2011年)、大学に入った子たちのまで含め、10年間分の中学1年生の反省文を各年度4名ずつ抜き出しました。たくさんの反省文があって、掲載するのを選ぶ作業は難しいですね。

◎『第16期(1996年)』◎

○この合宿の中で、私に一番力がついたのは洗濯係をしたことだ。一日目、私は今まで洗濯なんかやったこともなかったので、他の班の友達に教え

てもらいながらがんばった。でも「脱水」の意味も知らず、脱水しながら水を入れていたりして、たくさん失敗してしまった。やっとの思いで手順



や分量などを覚えた時に、他の班の洗濯のやり方を知らない友達が私にやり方を聞きにきた。

『私も素人なのに……』と思いつつ、きちんと教えてあげることができた。その時には、『私にも教えることができた』と感動した。二日目からは、時々失敗もしていたけど、要領よくできるようになった。とてもやりがいのある仕事だったと思う。……クーラーがなくても、早く起きて、あまり苦にならなかった。この合宿から、健全な楽しさを得ることができたと思う。初めての私には「合宿」というか「楽宿」のようだった。

(S・T)(岡山大・医)

○初めての合宿、予想通り、毎日8時間前後の勉強時間。普段なら、すぐにギブアップなのですが、ここではけっこう頑張れました。友達と進み具合を競えるし、分からない所があれば、すぐ先輩に聞いたりできるからでしょう。

(K・T)(山口大・医)

○合宿での役割で一番大変だったのは麦茶づくりでした。4日目まではペットボトル洗いとかしていたのに、4日目は1年生が麦茶を作りました。



いろいろがんばったのだけど、なぜか麦がういてきて、おいしくない麦茶ができたのでした。しかも

冷蔵庫いっぱいペットボトルが、ウォータークーラーにも満水の麦茶ができました。夕方、食卓に並べても麦茶は冷蔵庫にいっぱい3年生はあきれてしまいました。……それから毎日、家の麦

茶はほとんど自分で作っています。

(K・N) (東京大・法)

○合宿では本当によく食べた。でも食べたものは、家に居る時によく食べる、スナックがしやチョコ



レート等ではなくて、桃とスイカだった。……合宿でのソフトボール大会は

とてもおもしろかった。全然、ソフトなんて経験のない私でも、打って1塁に行けたのだ！それは、ギリ単で20点を取った時くらい(いや、それ以上)うれしかった！……

(A・K) (東京大・教養)

◎『第17期(1997年)』◎

○久しぶりに包丁をにぎってみて、うれしいような悲しいような、複雑な気持ちでした。そして、いざ切り始めると、きゅうりの輪切りがなんと、下まで切れてなくて、持ち上げると、びろ～んとつながっていたり、じゃがいもの皮をむいているときに、皮がむけないで、指が切れそうになったことも何度かありました。でも、その分、きちんと輪切りができたり、皮が速くむけたりしたときの喜びは、何ともいえませんでした。

(T・A) (香川大・経済)

○…………間食をしないせいか、1回にご飯を平均3杯くらいは食べた。うどんなどは5玉は食べていた。塾長の話の中に、うりだけでごはんを8杯食べた人がいた、と言っていたが、さすがにそれは無理があると思える。来年はできればそれを目標にしようか、と考えてみたりした。

(M・K) (東京大・理)

○僕は、洗たく係になって最初の日、洗たくの仕方が分からなくて、2年や3年の人に聞くと、細かく洗たくの手順を教えてくれた。2日目、洗たくの仕方が分かったので、もうできると思ってやっていたけど、今度は洗たく物が多すぎて、一度

には洗えなくて、2度に分けてやるととても時間がかかった。3日目、今までの反省を生かして洗たくをするとスムーズにできた。

(Y・M) (東北大・経済)

○合宿には、本当に勉強と遊び(?)の両方があった。一番印象に残っているのはギリ単だ。なぜか2回ともわが班がトップで、最後の反省会でプリンを自分の班だけ食べられたからだ。しばらく優越感にひたっていた。そ

れともう一つ。2回とも20点で、プリンの上にアイスクリームももらったからだ。確かに美味しかったけど、それまでの5日で、「ア



イスクリューム」とか「ジュース」とか「おかし」とかが全然必要でなかったので……などとはいっても、やっぱり美味しかった。

(S・O) (早稲田大・教育)

◎『第18期(1998年)』◎

○私にとって、合宿中での一番の出来事は、ギリ単を洗たくしてしまった事です。洗たくをしていると、ギリ単がなかったから、どうしたのかな、と思っていると、友達が、「洗濯機の中じゃないの」と言うので、見てみると、なんと緑色の物が中でまわっていたのです。取ってみると、やっぱりギリ単でした。…そのまま、続けていると、脱水機の音を聞いて塾長が来てしまい、塾長にギリ単の事がばれてしまいました。でも、なんにも言われなかったのが、少しホッとしました。……いつもより点数がよかったのがうれしかったです。

(M・H) (岡山大・薬)

○あれは合宿1日目の夜の事でした。班員全員がシャワーを済まして1年生3人で服を洗たくしに行きました。ふつうに服を洗たく機の中に入れ、ふつうに洗剤を入れ、ふつうに洗たくを始め、その場から離れる



こともなくずっと洗たく機を見ていたのに事件は起きたのです。洗たくが終わった音が鳴ったの

で、僕は洗たく機のふたを取りました。すると、洗たく機の中にあるはずの衣類が全く無くなっていたのです。「なぜだー」と思い、もう一度よく見てみると、犯人が分かりました。それは、洗剤を入れ過ぎたせいか、洗たく機いっぱいにつもった大量の「あわ」でした。

(K・M)(京都大・法)

○この合宿での一番の思い出は、やはりグリ単です。……合宿前までは10点前後(1ケタがしばしば)だった私が、19点、20点を取りました。今まで満点をとったことがなかったので、うれしかったです。勉強すれば、必ず点は取れるということを実感しました。家でも、これだけ勉強すれば取れるのと思ってしまいます。…

(A・N)(東京工業大・3類)

○合宿での一番の思い出は、グリ単のテストで20点をとったことだ。今までに満点をとったことは、たぶんなかったので、これは本当にうれしかった。合宿での班別学習は、家で勉強をするよりも、数倍は能率があがった。先ばいは、分からないことがあると、すぐに教えてくれた。その先ばいは、ほとんどぼくたち1年生に色々なことを教えてくれていて、自分は学習時間が少なくなったにもかかわらず、グリ単は連続20点だった。尊敬する！合宿では、なぜか勉強するのが楽しかった。友達や先ばいといっしょにできたからだと思う。

(S・H)(岡山大・農)

◎『第19期(1999年)』◎

○僕が反省したい点は、役割の朝食準備です。上級生の人にほとんどのことをまかせてしまい、何もしていないでいました。食器の皿の枚数数えなども、指示をもらわないと、うまくできませんでした。みそ汁のつぎ分けが、数が足りなくなってしまうと、すぐに作ったみ

そ汁も味付けがとても濃かったらしいです。この合宿でおもしろかったことは洗たくです。初めてした時は、ちゃんとできるか少し不安だったけど、しているうちに、なぜか楽しくなってきた、明日は色分けをちゃんとしてみようとか考えていました。干す時もいかにバランスをとってほそうかと考えながら楽しみました。

(Y・K)(大阪大・理)

○……私は皿洗いをしていました。4人で同じことをしているのでそれほど大変ではないと思っていました。でも思っていたのとはけた違いでした。とにかく、



すごい量。家で手伝いをしているのとは大違い。4人でしていてもなかなか減らず、もう途中で逃げ

出したいと思ったりもしました。でも、そう思いながらも、やっとのことで片付いて終わった時は、何だか心がすっきりしたような気持ちになれて、「やってよかったなァ」と思えました。

(C・O)(徳島大・薬)

○合宿で大変だったのは、昼食準備でした。勉強を途中で切り上げて、いろんな意味で熱気ムンムンの所で働かなければならないなんて。トホホ。初日のたらいうどんは天ぷらのせいか、熱くて熱くてたまりませんでした。うちわを持っていけばよかったなとかかいしていました。そして、その時に、すごい秘技をみだしたのです。「秘技！つゆグルグル回転アタック」この技をみだしてからはけっこう楽でした。内容は企業秘密です。

(K・K)(東京大・文3)

○……でもテストが戻ってきた時、ぼくは正直言って驚いた。グリ単のテストの中で二番目に低い点数だったからだ。それで僕は勉強が少なかったと思って反省している。……最後の反省会で、その反省会が合宿の中で一番目くらいに楽しかった。喜多さんが歌ったときは少しうるさいとか思ったりしたけど、けっこう楽



しかった。自分の
 班の順番が
 来た時は、自分
 に当たるかも
 しれないので
 少し緊張した

...

(K・H)(東京大・理3)

◎『第20期(2000年)』◎

○……合宿中に食べた桃とスイカは最高でした！果物のことで一番印象に残ったのは、ソフトボールをしていた時に食べたスイカです。あの時は、私はBコート



トで試合を見ていたのですが、塾長がBコートまでスイカを1つ持ってきて「今切ったスイカおいしいよ！！」と

言っ、その場で1口スイカを食べて見せました。そして、「う～ん、おいしい。」それを聞いて、Bコートの試合を見ていた女子は、ほとんどの人がスイカを食べに行きました。私もそのうちの一人なんです、そのスイカは、本当にあまくて、おいしかったです。

(N・Y)(岡山大・薬)

○ぼくの班の役割は、夕食片付けになったんだけど、すごく大変でした。それは、夕食前の班別で、少しはゲリ単を勉強していたけど(少しなのは時間がまだあると思ったから)、夕食後、片付けを終わったら、急いでシャワー、単語テストなので、全く時間がなくて困りました。次の日から、ゲリ単を窓のサッシとガラスの部分(フレーム?)にはさんで、おぼんをふいていました。しかも、先輩の洗うスピードがメチャクチャ速くて(追いつけないほど)、つかれました。ちなみに、グリーンボットのごみ捨てで、何か、かかしがこっちをにらんでいるような気がしたり(片手がなくて怖さ倍増!)・・・

(R・I)(神戸大・国際)

○ゲリ単をここまで集中し、覚えたのは初めてだった。今までは、適当にパッパと見て、テストをしていた。しかし、合宿中は、自分が悪い点をとってしまうと、班のみんなにも迷惑になってしまうので、必死に勉強して、発音記号や反意語、同意語まで覚え、テストした。班の人も、みんなおもしろい人ばかりで、寝る前とかに、一緒に話したりした。だけど、勉強になると、人が変わったみたいに真剣になって勉強していた。分からない所を質問すると、とても分かりやすく、ていねいに教えてくれた。それだけでなく、発音記号の覚え方なども教えてくれた。あの班になれて、本当に良かったと思う。・・・

(K・H)(大阪大・理)

○私が合宿をしてみて、一番驚いたのは、1日のうちで、勉強することができる時間が多いということでした。本当は役割があったりそうじがあったりで、家にいる時よりも勉強できる時間は短くなるはずなのに、家でやるよりも、たくさんの量をすることができました。「時間ってつくろうと思えばいくらでもつくれる



んだな」と思いました。次に驚いたのは、まわりの友達のやる気！！消灯ギリギリまで、中2や中3の人に教えても

らいながら宿題をしている友達を見ると、「寝てる場合じゃないな・・・」と思い、自分もテキストを開いて、問題とにらめっこしていました。

(M・J)(一橋大・商)

◎『第21期(2001年)』◎

○いっぱい勉強した。勉強した時間は、びっくりするくらい多かった。ゲリ単で高得点を取ったのは、かなり久しぶりだった。桃がおいしかったので、1日4個ぐらい食べた。昼食の片づけで、初めて「ため洗い」ということをした。6時にバッチリ起きられたので安心した。ソフトボールで、ボールがバットに当たった

時は感激した。・・・ (Y・A)(横浜国立大・経営)

○ある夜、ぼくが一生懸命せんたくをしていた時の事・・・せんたく機の中の水の色がなんと赤〜くそま



っていました。「なっなんだこれは!!」とぼくがさけぶと、あるA君が「それ色おちしとるやん。」と言いました。ぼ

くは、絶望しました。みんなに「おい!なんやこれは!」と怒られる所が頭にうかびました。ぼくがなんとかしようと考えていると、あるB君が「別々にすすぐとえんちゃん」と言われ、そうだ!と思い、がんばってすすいでいると色がおちました。「やったー」と心の中でさけんでいたけど、自分の服だけうすく赤〜くなっていました。

(S・N)(一橋大・商)

○……昼らへんになって昼食準備の班やったけん昼食つくりになった。今まであんまり作ったことなかったけん3年生や2年生の先輩にいっぱい教えてもらった。2日目の玉ねぎ切る時とかも、けっこう教えてもらったけん、終わるころには前よりうまくなったと思う。・・・朝はきみょうな音楽で目がさめた。けっこう寒かった。グラウンドまで歩いていく時はあくびがたえることがなかった。ラジオ体操は小学校が終わってやっとしなくていいと思ったのに再びせんといかんで少しショックだった。そのあとの草ぬきは草ぬきではなく草ちぎりだったような気がする。でも



最後の日に、山下さんが「これぬけるよー」って言った草が軽々ぬけたけん

急に草ぬきに目覚めてぬける草ばっかさがしてぬいた。(Y・M)(大阪大・工)

○初めての合宿で、3年生が恐かったりしないかな、と心配だったけど、意外と3年生はおもしろくて、よかったです。ゲリ単は、一生懸命に勉強したので高得点でした。初の満点もとれて、うれしかったです。大学生の人達も、おもしろい人達ばかりだったので、楽しく班の仕事や勉強ができました。思い出は、シャワーの時に、3日全部めがねをかけてあらってしまったことです。みんなに笑われました。二つ目は、昼ごはん



んのかたづけの時に、バケツの中に泡が入ったまま水をかけたら、泡がモコモコと出てきて、

2年生のY君と遊んでいたことです。そして、このあとの生ゴミを捨てるグリーンポットはめっちゃめっちゃ臭かったです。(T・M)(東京大・理I)

◎『第22期(2002年)』◎

○……第1回目のゲリ単は不本意な成績をとった。平



均点もいつもよりはるかに高かった。だから2回目は、必死になって勉強した。洗たくしながら友達

といっしょに勉強した。この時間が楽しくて、洗たくが好きになった。(K・T)(岡山山大・医)

○まさか連続満点がとれるなんて夢にも思いませんでした。勉強した時間はいつもとあまり変わりませんでした。でも、どんどん単語が頭の中に入っていくよ

うな感じでした。これも、合宿パワーなんだなあと思いました。合宿所は、とても静かで集中することができました。だけどこれからは、普段からいい点が取れるようにがんばりたいです。この合宿はとても楽しい



ものでした。寝る時だって、思っていたほど暑くはありませんでした。洗たくは、最初の方は、どれくらい

回せばいいかやどれくらい洗剤を入れたらいいのか分からずに、とても苦勞しました。でも、最後の方になると、だいぶ慣れてきて、すばやく終わらせることができました。…… (T・N)(東京大・文I)

○……僕が学んだことがいくつかある。1つ目は洗たく機の使い方。これは家に帰って驚いた。合宿のは全て洗たくそうと脱水そうが分かれていて目がはなせないのだが、家のは全自動でピッピッピでOKなのだ。こんな所でも合宿所の不便さが分かる。2つ目はスイカのゼータク食い。塾長直伝で、しかも「うまい」と言われた。3つ目は人間、クーラーがなくても寝れるということ。クーラーのタイマーで電源が切れたとたん飛び起きる僕がクーラーなしで寝れたのはすごいと思う。ソフトボールはとてもおもしろかった。野球歴0の僕でもヒットが打てたのだ。それは2-5で負けている時のことだった。二死満塁でバッターは僕。かなりあせった。しかし運よくボールがしんに当たり、1・2塁間をぬけていった。その時のうれしさはたとえようがない。……

(D・M)(大阪大・経済)

◎『第23期(2003年)』◎

○……先ばいがいろいろな事を教えてくれたので、とても楽しくすごせました。グリ単のテストがあって、読み方の分からない単語がありました。なかなか話せなかった班の人に聞いてみました。すると、優しく教

えてくれました。それからは、いろんな人と、ふつうに話ができるようになり、いつも有意義な時間がすごせました。果物時間では、どんどん桃を食べました。今まで、あまり好きではなかった桃を一つ食べてみました。すると、とってもあまく、1口でとりこになってしまいました。(M・K)(岡山大・教育)

○……1番夕食の片づけがつかった。次から次へと皿が出てくる。ずっと立っていると「こし」が痛かった。この時、お母さんのありがたみを改めて感じた。



合宿から帰って、お母さんの手伝いをよくするようになったと自分では思ってます。

そして、私はグリ単のテスト勉強を本当に必死でやった。……同じ班の1年生と問題の出し合いをした。1日目は夕食片付けの後、発音記号を覚えようとしていた。でも役割が終わるとすぐシャワー。そしてテスト。私は1日目のテストで発音記号を班別学習でようやく持ってやっとなら良かったと、とても後悔しています。3日目(2回目のテスト)は、失敗をしないようにようやく持って取り組めたせいか、初めてグリ単で満点でした。すごくうれしかったです。

(A・K)(関西学院大・教育)

○100人近い人数のごはんをつくるのは、とても大変な事でした。いつも家でつくっている量よりはるかに



多く、特にからあげをつくったときは死ぬかと思うくらい暑かったです。でも、一生懸命つくった

たかいがあり、塾長先生も「おいしい」と言ってくれました。テストの方は全然ダメで、2枚とも満点をと

ることができませんでした。テストが終わって、「もうちょっと勉強しとったらよかった。」と何度も思いました。本当に残念です。やはり、何と言ってもソフトボールがおもしろかったです。あまりソフトボールなどする機会がないので、上手にバッティングできるかな、とか、エラーしたりしないかな、とか不安ばかりでした。でも、ホームランも4本ぐらい打てたし、守備の方もいいプレーができたので、ぼく的には100点満点だと思います。(H・J)(横浜国立大・経済)

○……ゲリ単を見ながら洗たくをした。先パイに使い方を教えてもらって、最初は不安だったけれど、洗たく機を使えるようになった。今では、今までできなかった洗たくが、



家でもできるようになった。でも、洗たくをするのにとても時間がかかってしまった。もっとうまくしなければと思う。でも、洗たくをしながら風呂(シャワー)あがりのコーヒータンは最高だった。……うれしかったのは、先輩から声をかけてくれたことだ。やっぱり1年からはかけづらいうれしかった。私が2年になったら、どん

どん1年生に声をかけてあげたいと思う。

(Y・A)(京都大学・医学部人間)

◎『第24期(2004年)』◎

○1期は、はじめの2日間は、台風のせいで、楽しかったソフトボールができなかった。雨のため、教室



から教室への移動も大変だった。しかしそのおかげか、ソフトボールでヒットを打った時の快感

にとばしてくれた。チームは勝ったり負けたりだったけど楽しかった。

(T.M)(岡山大・文)

○2日目になると、少しはなれてきて、先輩に質問してみたり、課題を終わらせたり、とよゆうが持てるようになってきていました。夜の単語テストは、みんな



ないつもと違って本当に熱心に勉強していました。ぼくも、みんなが勉強しているの

を見て、「今日の単語テストは、いつもよりもう少しだけでもがんばろう」と思い、班別学習の時間にも単語の勉強をしていました。4日目の最終日には、起きた時に「もうここを出ていくのか」とか「もう少しここにいたい」と思っていました。

(K.K)(名古屋大・法)

○1年のベータチームに勝ったので、3年生と試合をしました。ぼくは、この時3ランホームランを打つことができました。とてもうれしかったです。結果は1



0-5で3年生に勝つことができました。とても楽しかったです。それと、夕食片付けの時は大変でした。

からあげの後の大なべとかは、汚れていて、なかなかおちませんでした。でも、一生けん命みがくとだんだんきれいになっていって少し面白かったです。

(J.K)(香川大・医)

○役割を終えるとシャワーが待っている。その後、大量の洗たく物を洗っていると、単語テストが始まってしまう。単語テストが終わった後、急いでほさなければいけなかった。2回目は間に合わそうとし、シャワーの前に水をためておいた。けれど結局間に合わなかった。今度する時は、もう少し良い案を考えて行つて

みようと思った。合宿に行く前、とても暑いだろうな
と
思っていた。予想通りとても暑かった。家へ帰る時、やった一すずしいと思ってい
たら、クーラーを
している所はまーまーすずしいが、家の廊下はとても暑かった。風がないからだ。合宿所はどこにでも風がある。私は、どちらかというと、どこにでも風がある合宿所のような所の方が好きだと思った。

(M.N)(早稲田大・基幹理工)

◎『第25期(2005年)』◎

○……合宿1日目、どこに何があるのか分からない状況の中、いきなり始まったのが昼食作りです。私は家ではろくに料理もしたことがないし、ちゃんとできる



のかなと思っていると、班長をはじめとする先輩が「ほう丁はここにあって、まな板はここにあるから。」

というように全部説明してくれました。また、洗たくをするときも合宿初日は最初から最後まで全部つきっきりで教えてくれました。自分もグリ単等の勉強で大変だと思うのに、私が分からなかった問題を分かるまで説明してくれました。来年は今までしてもらったことを忘れずに、初めての合宿の人に教えてあげられるようにしたい。

(K.H)(岡山大・農)

○夕食の片づけはとてもたいへんな作業だった。おぼんを洗ったり食器を洗ったり、その数がぼう大な量なのだ。私は、おぼん洗いをした。洗っておぼんをふいていくという作業だ。最初は服がぬれてしまったりしていたが、二日も三日もやっているとだいぶこづがわかってきた。夕飯片づけが終わったときは思わず声を

出して「ヤッター」と言ってしまうほど喜んだ。

(M.S)(香川大・教育)

○……ソフトボールでは、はじめはバットを振るのがいやで、はじめて打つ事になった時は失敗ばかりだったけど、何回かやっていくうちにバットにボールがあたるようになり、(アウトばかりだけど)とてもうれ



しかった。班別学習の時
には宿題や課題などで先ば
いに質問したら、きちんと説

明してくれて、とても分かりやすくてびっくりしました。来年は私が質問される方の立場になると思うと、ちゃんと答えられるか少し不安になりました。しっかり勉強しておこう。

(M.K)(山口大・人文)

○合宿で一番楽しかったことは、ソフトボールと夜。ソフトボールは生まれて初めてしました。始めは、「やらない!」と思っていました。でも、いざやってみると、とてもおもしろかったです。最初は、ボールカス



トライクか、見分ける余裕もなく、ただバットをふっているだけでした(というより、ソフトボールのルール

さえも分かってなかったんで…)。でも、だんだんボールを見分ける余裕も出てき、ファールながらも、バットにボールが当たるようになりました。そして…カキーンと打って、一塁へ。やった!!と思ったら、「ハイ、交代～」の声が……

(Y.A)(京都府立医科大・看護)

次は、去年(2010年)の中1～高3までの諸君の『合宿反省文』からの抜粋です。

2010 年合宿反省文より

2010 年(第 30 期)夏期合宿は、7 月 31 日(土)～8 月 17 日(火)の間に行われました。中学生が 1・4 期、高校生が 2・3 期でした。

中 1

○一つ一つの食事でも準備班の人達は忙しく、とても汗をかいて準備していました。たとえそれが「役割」だからと言っても、自分の学習時間を削っていたわけですから、その食事を残しては申し訳ないと思い完食



しました。こうした当たり前の日常生活に様々な人の思いやりや努力があることを改めて確認

出来て、そういう意味で「合宿」はとても自分にとってプラスになったと思います。そんな合宿もソフトボールや果物時間があって全くあきませんでした。ラジオ体操も朝から体がシャキッとして体調をくずさず過ごせるし、何より桃とスイカが最高!・・・・・・この合宿のおかげで生活についても、勉強についても考えることが出来て、本当に良かったです。来年は、もっと周りの事を考えて動けるように、そして新中 1 の見本となれるようにがんばりたいと思います。・・・・・・

(S.M)

○夕食作りは時間が少ない中なので 3 回の夕食作りの中で、2 回遅れてしまいました。また一年生がする



洗たくでは、みんなの洗たくを集める→洗たく機で洗う→干す→とりこむという作業をがんばっ

て行いました。・・・・・・夜は終身が 11 時などになってとてもねむくてとても厳しかったです。その後はね

ぞうが悪く頭がベッドから落ちそうになり、何度もおこされました。おかげで朝も眠く苦しかったです。この夏期合宿を通して、生活の中でなかなか団体生活をすることが少ないので、自分のことを先に優先して考えるのではなく人のことを考えることも大切だと思いました。・・・・・・

(M.K)

○班のみんなにめいわくをかけたのは、ご飯を食べるのが遅かった事。私たちの班は、いつも片付けするのが最後。・・・夜は案外早く寝れた。合宿が始まるまで「寝れるかな?」とずっと心配してたけど、つかれたまっていたおかげか、寝れて安心した。でも朝が大変だった。私はとろいので、20 分できがえて、顔洗って、歯磨きするという大変さ。今までで一番あせったかもしれないそのくらいいいそいだ。勉強は、夜の班別に出られなかった。洗たくが終わり、干し終わって、



班別の教室に行っている勉強の準備をしていると、「寝る準備・・・」という放送が流れる。「今日も勉強

できなかった。」とこうかいしてた。もっと早く洗たくができれば・・・・・・

(Y.N)

中 2

○今回の合宿の反省点は、そうじです。シャワー後、反省会があるためシャワーを浴びた人が食堂に来ま



す。その時、反省会の集場所、食堂のそうじが私達の班だったのです。私はそれを知らなかったの

で 1 回目は先生に注意されるだけでした。しかし、2 回目も忘れていました。私はその時とても反省し、3

回目は1番にそうじ道具を持ちました。失敗が生かされたなあと思いました。

(M.M)

○今回の合宿は朝のラジオ体操への移動の時に一列でしゃべらずに移動した。すると周りがよく見えて、色々な事に気付けた。その1つに、2日目には道端に



あった雑草のゴミが3日目にはなくなっていた。誰かが片付けをしていたということだ。・・・班の役割は夕食準備だった。1日目は遅れてしまい、みんなにめいわくをかけてしまった。そして2日目その反省を活かして、

「味よりスピード」のモットーにもとづいて1人1人が自分の仕事を見つけて働いた。しかし、それでも30分も遅れてしまう。・・・3日目合宿に来てすべての役割で失敗というのがみんなくやしかったのだろう。いつも以上に班長を中心にみんなのやる気を感じた。ぼーっと立っている人が少なくなって全員が仕事をしていた。あたりまえの事だが昨日よりみんな進化している。それがうれしい。

(R.Y)

○今年の合宿は去年より積極的な行動ができたと思います。去年の合宿の作文で“来年はもっと積極的



に・・・”と書いた覚えがあるので、それは改善できるようにと頑張りました。特に昼食作りでは指示

をだされたらそれにしたがって、手があいている時は自分で何をしたら良いのかを考えて行動できたと思います。また、今年は3年生や大学生にもたくさん質問しました。優しく、分かりやすく教えてくれたので、理解することができました。

(Y.N)

中3

○勉強の方は、夜の補習とか皆と勉強するとやっぱり刺激になります。大事な部分は塾長が何回も言っているので、だいたいは分かりました。いつもは家でダラ



ダラしてしまうけどこの4日間は、早起きしてそうじして勉強してと・・・テキパキと生活でき

ました。「時間は作ろうと思えばつくれるもの」ということを実感しました。また共同生活をしているので、がまんすることも必要だし他にもいろんなことを学びました。

(M.N)

○麦茶作りは初めてだった。初日、塾長に「粉がでて



います。」と言われたのでかきまぜないよう注意した。そして時間を上手に作って、朝、

昼、夜ときちんと麦茶を作れたと思う。・・・単語テスト、1回目、2回目ともに優勝した。しかも、僕の班には連続満点がなかった。しかし、みんなができていたので、1、2年生に教えてあげたかいはあったと思う。合宿3回中、途中経過も含めて6回優勝。僕は運が良いのかもしれない。

(M.O)

○1つ失敗したことがあります。それは、夕食準備に



時間がかかってしまい、後に続く予定すべての時間をおしてしまったことです。

1日目は、自分のことで精いっぱい、周りに指示を出すことが少な

かったと思います。一日目の反省会后、3年生みんな
で話しあい、どこがいけないのかをはっきりさせ、次
の日から、自分のことはもちろん、1、2年生にしっ
かり指示を出すことができました。夕食準備で先々考
えるのは難しかったけど、それをして、指示を出すこ
とで、本当にスムーズにできました。最後は、時間よ
り早く準備できたのでとてもうれしかったし一生け
ん命やったやりがいを感じました。

(A. Y)

高1

○中学生の時と違って、勉強をしているときの雰囲気
が違っていた。授業がなく、空いている時間は全て、



自主学习に費や
すことができた。
もちろん睡眠し
ていた時は除く。
心配していた単
語テストも普段
ならば減多に取

れないような点数で、どうにか班の足を引っ張らずに
済んだ。他のテストもあって単語テストに費やす時間
はあまりなかったけど合宿の時ほどの集中力でやれ
ば何とかなるということが分かった。

(M. E)

○なによりも、規則正しい生活ができたことが、私は
良かったと思いました。それに、朝食を準備したり、
みんなの洗濯をしたりと自分に与えられた役割をこ
なす、という当たり前のことかもしれないけど、5日



間自分の仕事を
きちんとするこ
うことができました。
また、朝食の準
備・片づけで、
自分の仕事を自

分で見つけて動く、ということができたことも良かった
と思いました。周りの人たちが勉強を始めたのを見

て、「自分も早く勉強しなきゃ」と思ってがんばれた
し、家ではこんなに周りから刺激を受けて、勉強する
こともないので、本当に良かったです。

(M. S)

○学校の授業がないために、どうしても教科がかたよ
ってしまう。自分にとって数学の勉強は大変だしつら
いので数学の勉強時間は他の教科に比べて少なくな
ってしまうのだ。しかし、合宿では周りの人達につら



れて自分も数
学をやる。合
宿中にテスト
があるという
のも一つの大
きな理由だが。
周りの環境。

これこそ合宿中だからこそ得られるものだと思う。合
宿には友達がいる！共に勉強をしてきた仲間がいる。
その人たちの出す雰囲気は私にはないものであって、
それは緊張感であり、集中力でもある。だから私は苦
手な数学もがんばれる。お互いに刺激を与え合い生活
面でも学習面でも成長できる場所。それが合宿なのだ
と感じた。

(S. Y)

高2

○塾長が懐かしい言葉を言った。「人間分子網目の法
則」・・・合宿という一つの共同生活の中で、まさに、
この法則が成り立っているんだと感じた。食事一つに



しても食材を作る人から料理を作る人、食べる人、片
づけする人、そ
れぞれが協力し
てつくられてい
て、そこに携わ
る人の数は、と
てもたくさんに
なるだろう。合

宿で行う仕事どころか、あらゆるところで、様々なも
のが互いに密接に、そして複雑に関わりあっている。

まるで網のように。しかし、こんな素晴らしいサイクルの中でも、自分が生きられるのは、自分という主観の中だけで、自分が全てである。だからといって、自分勝手にふるまうことは許されない。自分が全てだけど、だからこそ、他の人の立場にたって考えるべきだろうと思う。（それが難しいことだけど）

(R.K)

○「集団生活の大変さ」。わたしはこの点において確実に油断していた。少し、本当に少し意識しただけである。大勢の中の自分、周りの空気、相手が思っていること。それだけで違う世界が見えた気がした。今までは空気にあわせて流れていただけだった。でも、流れに入るタイミング、入り方で結果は全く違うものになる。・・・結局、1つの物事にはいくつもの見方が



存在して、どの見方で見るとかは人それぞれで、自分の思い通りになんて進まないことを深く

実感した合宿でした。

(M.M)

○合宿では食の楽しさも味わえた。一生懸命頭を働かせた後の果物や食事は本当に美味しい。普段、弁当や



コンビニの食事が多くなるので、自家製の野菜を使った食事は本当に美味しく感じた。塾長が毎年私たちのため

に大変な農作業をしてくれていることを思うと、とても残せるはずがないと思った。

(E.W)

高3

○勉強面では、百分の集中力の無さを思い知らされた。やらなければならないということは分かっているの



に、気持ちだけ焦って逆に、から回りしている気がしていた。

そんな時に反省会で塾長の「グラウンドの草は

多くありすぎて、途方に暮れることもあるけど、それでも、ひたすら抜き続けるしかない。勉強も同じだ。」という言葉聞いて、昔テキストの表紙にかいてあった“学問に王道はない”ということばを思いだした。そして、今の自分の勉強が当時と比べてどれだけ原則的学習から離れているだろうかと思った。

(K.H)

○洗濯や料理、片付け、掃除、麦茶作り、果物準備等々の役割や、ソフトボール、クーラーやテレビのない環境からみえてくるのは、どれ程私が普段多くの人やものに依存して生きているかということだ。それがみえてくると「自分」に狭まりがちな視野の範囲が一気に



広がる。そして、「自分」を支えている人やものに対して感謝するようになる。この感謝

の気持ちこそが何にもまさるエネルギーになるのだ。このことに6年目にしようやく気付いた。（遅い。）結局、勉強というのは、そういった人間的なものの末端にあるものであって、そこを蔑ろにした「勉強」というものはあり得ない。

(E.F)

○食事の役割や掃除、勉強でも今年は質問される側。“分からないことは班長に！！”と言われるたびに、

責任の重大さを実感した。とにかく周りをよく見て動く、自分のことだけ考えているのはいけない。団体



行動の決まりの大切さを改めて感じることとなった。

そして、何より自分の勉強も大切。や

ることが決められていない分、自分のやる気次第・・・1人では諦めてしまったかもしれないが、同学年の友達と共に5日間を過ごした班員たちの頑張っている姿にも後押しされ、充実した時間になったと思う。

(C.O)

《編集後記》

今年度(2011年版)の『合宿の軌跡』を発行します。近年は去年の合宿について、ブログからの抜粋を行っているのですが、ブログに書いてきたものを3分の1に縮める作業には苦労しました。温暖化の影響か、今年の夏も暑そうです。「大震災・大津波」という「どうしようもないこと」のあった年、生きて勉強できて、しかも合宿もできる喜びを想いながら、また新たな気持ちで、みんなと一緒に、力と知恵と忍耐力を合わせて精一杯の努力を尽くしましょう！

2011年(第31期)の夏期合宿は7月31日(日)から始まります。今年は以前のように中学生が1・3期、高校生が2・4期になりました。

